



リンバーは住友化学(株)の登録商標

紋枯を切る

発病初期から後期まで幅広く使えます

イネ紋枯病防除剤

リンバー[®] 粒剤

イネ紋枯病防除剤



殺菌剤分類 7 有効成分：フラマトピル……………1.5%

特長

- 優れた抗菌活性**
紋枯病菌に対し強力な抗菌活性を有するため、高い防除効果を発揮します。
- 優れた作用特性**
菌核形成と菌核からの発芽、および菌糸の生育を抑制し、特に侵入菌糸塊の形成を抑えるため、稲への感染を強力に阻害します。
- 優れた実用場面での特性**
予防・治療(病斑進展阻止)効果に加え、稲体への吸収移行に優れており、散布剤に劣らない速効的な防除効果が期待できます。
- 広い散布適期幅**
残効性に優れており、出穂期からその一ヶ月前またはそれ以前の散布でも有効な防除効果が期待できます。
- 省力的な防除が可能**
薬剤の飛散が少なく、防除作業が容易な水面施用粒剤です。

【適用病害と使用方法】

2020年4月現在の登録内容

作物名	適用病害名	10アール当りの使用量	使用時期	本剤及びフラマトピルを含む農薬の総使用回数	使用方法
稲	紋枯病 疑似紋枯症 [褐色菌核病菌] [赤色菌核病菌]	3~4kg	収穫30日前まで	本剤 2回以内 フラマトピル 2回以内 (直播での種時又は移植時 までの処理は1回以内)	散布

■ 紋枯病 岩手県立農業試験場(1990)

リンバー粒剤 4kg/10a	94.5
A 粒剤 4kg/10a	58.1

防除価 (9月13日)

耕種概要：品種あきたこまち、移植5月13日、出穂期8月9日
 病害発生状況：多発生(7月17日接種)、無処理の全体の被害度は42.2
 処理：7月30日(出穂10日前)
 調査方法：9月13日に調査区全体(30株)について調査し、調査区全体の被害度から防除価を算出した(羽柴法)。

■ 紋枯病 岐阜県農業総合研究センター(1992)

リンバー粒剤 3kg/10a	100
A 粒剤 4kg/10a	48.5

防除価 (9月1日)

耕種概要：品種コシヒカリ、移植5月25日、出穂期8月7日
 病害発生状況：中発生、無処理の全体の被害度は19.6
 処理：7月24日(出穂14日前)
 調査方法：9月1日に各区40株(10株4ヶ所)について調査し、調査区全体の被害度から防除価を算出した(羽柴法)。

■ 紋枯病 富山県農業技術センター(1990)

リンバー粒剤 4kg/10a	88.5
A 粒剤 4kg/10a	0

防除価 (9月3日)

耕種概要：品種コシヒカリ、移植4月26日、出穂期8月2日
 病害発生状況：中発生(7月4日接種)、無処理の全体の被害度は13.9
 処理：7月10日(出穂23日前)
 調査方法：9月3日に4㎡全株について調査し、調査区全体の被害度から防除価を算出した(羽柴法)。

■ 紋枯病 福岡県農業総合試験場(1992)

リンバー粒剤 3kg/10a	82
A 粒剤 3kg/10a	51

防除価 (8月18日)

耕種概要：品種コシヒカリ、移植4月20日、出穂期7月17日
 病害発生状況：中発生、無処理の全体の被害度は30.1
 処理：7月3日(出穂14日前)
 調査方法：8月18日に1区50株について調査し、調査区全体の被害度から防除価を算出した(羽柴法)。

【使用上の注意事項(抜粋)】

- 散布に当っては湿水状態(水深3cm以上)で播きむらのないように均一に散布し、散布後少なくとも3~4日間は湿水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 漏水のはげしい水田では効果の劣る場合があるので使用をさけてください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とししてください。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 散布後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

